

まん延防止等重点措置 解除

ようやく準備に着手



3月6日で「まん延防止等重点措置」が解除され、自粛していた様々な活動を再開しました。
1月27日から1ヶ月以上の活動自粛は、御柱祭の準備にとってはあまりにも長い期間で、影響が大きすぎます。
山出しまであと18日（3月15日現在）。協力一致、これから急ピッチで本祭に向けての準備が進められていきます。

御柱祭を地域の力に

境地区大総代(田端)

平出 裕一



境地区大総代は任期が3年で、7つの集落を持ち回ります。

前回は境地区が抽籤大総代を受け持ち、本郷、落合の多くの氏子の方々に協力いただき、素晴らしい御柱曳行ができました。

私は、田端御頭郷の役で参加しました。「安全に、仲よく、楽しく、美しく」のスローガンを氏子の皆さんと共有し、さすが東三地区と評価される地区となりました。素晴らしい御柱祭ありがとうございました。

令和4年の御柱祭は、難しい局面をいくつも乗り越える御柱祭となってしまうかもしれません。どんな御柱祭が可能なかの協議を進めるうちに、感染状況は益々悪化し、今までに経験のない形を選ばざるを得ない状況になってしまいました。

我々4名の各地区大総代とも氏子の皆さんの健康、安全を第一にしつつ、無事に里曳ぎが終了することを願う日々であります。

新型コロナウイルスにより参加制限がかけられ、家族に病人を抱える家庭医療従事者、介護職場で働くなどの方々は参加したくても参加が難しい状況です。御柱祭はより積極的な参加が求められるお祭りではありますが、それぞれの事情を参加者同士で認め合い、無理のない形で進められればと考えます。

また、どこの集落も氏子戸数が減少し、消防団員の確保も難しい中、柱周りを固める若者も減っている状況が生まれています。地元に残った若者や新しく転入されてきた方々を暖かく氏子として迎え参加しやすい環境づくりや確実な技術を次回につなげたいと考えます。その様な力がこの地区の継続的な発展や勢いにつながればと願っております。

先頭に立つ係長、副係長を中心に若者のみなさんに大変なご苦労をおかけしますが、よろしくお願いたします。また、各区長さんや東三地区の氏子のみなさんの変わらぬお気持ちをご寄せていただき、お支えいただくよう重ねてお願いたします。

急断を断る 曳行を断る 山出し

御柱屋敷へトレーラーで運搬

新型コロナウイルスの感染拡大は収まることを知らない。

1月27日から2月20日までの期間で適用されている「まん延防止等重点措置」について、長野県は政府に延長を要請し、3月6日まで2週間の延長が決まりました。

これに伴い、上社大総代会でつくる上社御柱祭安全対策実行委員会では、山出しは氏子による曳行ではなく、ガイドラインに沿ってトレーラーなどの機械力を導入して運搬することを決定しました。

これを受けて、東三地区大総代会では急ぎよ2月21日に御頭郷総代・係長合同会議を乙事公民館で開催し、決定までの経緯と内容を報告して理解と協力をお願いしました。

説明では、氏子の健康と安全を第一に考え、曳行を諦め、ガイドラインを順守する。まん延防止等重点措置が3月6日まで延長され、その間の準備や活動が制約を受けている。山出しの参加者を感染



氏子の健康と安全を最優先に

御頭郷総代・係長合同会議で報告

から守ること。準備や練習不足により事故等の不測の事態が危惧されること等々により、まさに「苦渋の決断」をしたものです。

これによって、みんなが楽しみにしていた山出しの最大の見せ場である木落としと川越しは行わないことになりました。



山出しは 4月2日 国道152号を搬送

前宮四之御柱 綱置場出発 12:30
御柱屋敷到着 13:15

御柱搬送ルート



新型コロナウイルスの感染防止のため、山出しは4月2日に8本の御柱を一日でトレーラーにより搬送することが決まりました。

搬送ルートは、綱置場から八ヶ岳エコーラインを芹ヶ沢方面に向かい、芹ヶ沢南交差点から国道152号を茅野市街地に下り、あけぼの隧道を経て上川に向かい、宮川橋を通過して安国寺の御柱屋敷へ運びます。

綱置場から御柱街道を下る従来の曳行路は道幅が狭く、穴山の大曲など全長約24メートルのトレーラーでの走行

は難しいと判断し、道幅が確保できる国道や県道を通過することになりました。

搬送距離は約17・4キロメートル、所要時間は約40分を予定しています。

また、子之神社の神事は、茅野市豊平の尖石縄文交番付近で行います。

搬送は、1台のトレーラーに2本ずつ、本宮一と前宮一を積んだトレーラーは午前9時30分に綱置場を出発する予定です。以降、1

時間おきに出発します。

前宮四之御柱は、本宮四之御柱と一緒に12時30分に綱置場を出発して、御柱屋敷には13時15分の到着予定です。

到着10分前ころ、宮川橋の上で宮川の水をかけて御柱を清めます。山出しに先立ち、3月26日に御柱8本を現在安置している仮置場から綱置場に移動します。

また、前宮四の木造りは3月27日(終わらなければ引き続き28日)を予定しています。

御柱発着時間

御柱	綱置場 出発時間	御柱屋敷 到着時間
本宮一・前宮一	9:30	10:15
本宮二・前宮二	10:30	11:15
本宮三・前宮三	11:30	12:15
本宮四・前宮四	12:30	13:15

※お願い
綱置場からのお見送りや御柱屋敷でのお迎えは人数制限があり、随行は禁止です。
一般の氏子の皆さんの見学は極力控えていただきますようお願いとご協力をお願いします。



前回、辰野町の横川国有林で伐採された御柱は、トレーラーで中央自動車道を経由して綱置場に搬送されました



山出し、里曳きの準備等を説明

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「まん延防止等重点措置」が解除となる3月6日朝、乙事人民館の駐車場にて御頭郷総代幹事・正副係長会議が開催され、活動目録で遅れている山出し、里曳きの準備等について説明がありました。

これにより、係長会で説明内容を確認して、早急に本祭に向けての準備に入ります。
木造りについての基本的な考え方は、山出し祭の綱渡り神事前の「在るべき姿」にします。

たつては、感染症対策係と連携を密にして実施します。
また、作業を行う氏子や係員の感染拡大防止と家族への安心・安全を第一に考え、参加者は個人の思いや他地区の動向は考慮せず、自らの東三地区の安全・安心を守ることを基本と考え行動するよう指示がありました。

具体的には、輪なぐりを取付けられる状態、針孔梃子を差せる状態、追掛けが取付けられる状態にして御柱を送り出します。(里曳きの準備等については後報)

5月には、山出しで曳行ができなかった分を取り戻せるよう大勢の氏子の皆さんと盛大に里曳き祭ができることを願っています。

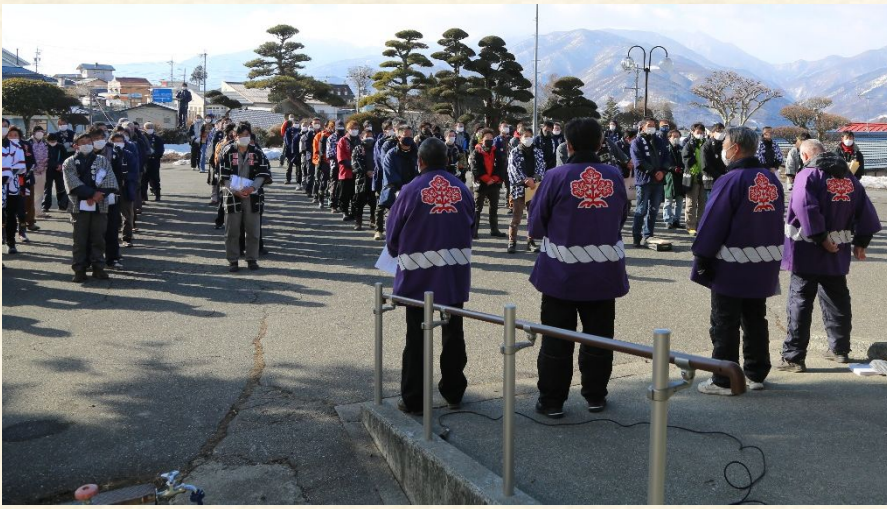
木造りは3月27日

木造りの人員は、作業の進捗状況から担当係員を交代しながら進めることで係長会で調整し、上社大総代会で決められた人数枠の100名以内で行います。

東三地区では、木造りを3月27日に行います。8時30分から木造り安全祈願を行い、作業に入ります。

感染防止対策について、木造りの事前準備活動や木造り作業に当

なお、木造りは係員の参加人数が制限される中で行われるため、一般の氏子の皆さんの木造り見学は極力避けていただきますようご理解とご協力をお願いします。



東三地区のスローガン

安全に、仲よく、
楽しく、美しく

今後の予定

- ◎ 木造り準備
係ごとに係長の指示で準備作業
- ◎ 木造り
3月27日(日) 綱置場
・午前8時30分 木造り安全祈願
安全祈願終了後作業
・人数制限があり、係長の指示で参加
- ◎ 山出し
4月2日(土) 綱置場
・午後0時30分 綱置場出発
・午後1時15分 御柱屋敷到着



五味大総代から係長に腕章を授与



係長から副係長に腕章を伝達

正副係長に腕章を授与

会議に先立ち、五味幸太郎大総代から各部署の係長に正副係長の腕章が授与されました。
正副係長の皆さんは、東三地区

に培われた伝統の継承と御柱に携わる責任の重大さ、そして自託された腕章の重みに改めて気持ちを引き締めていました。

令和4年御柱祭
東三地区氏子会 (本郷・落合・境)
<http://r4h3.www2.jp>

